

【田野畑村商工会】経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》

- A: 目標を達成することができた(100%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
- E: 未実施(0%)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	29年度		実績	評価 29年度
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査【指針③】	(1) 専門家を活用した調査及び分析	4回 20事業所	2回 20事業所	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、景気動向調査の実態を把握	B
	(2) 刊行物等による調査及び分析	4回	4回	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、刊行物等の調査及び分析を行った。	B
	(3) 観光客入込状況調査	4回	2回	日々の経営支援の基礎資料にしているが、情報提供までにはいたっていない。	E
2. 経営状況の分析【指針①】	(1) 巡回指導等による経営状況の分析	30件	30件	巡回指導等において、各種助成金等の周知を行い、事業計画策定につなげた。	B
	(2) 現状再確認シート作成による分析	15件	9件	ネットde記帳を活用し、経営状況の分析を行った。	A
	(3) 専門家を活用した経営状況の分析	1回	1回	専門家による経営分析セミナー開催(集団)経営分析を行った。	A
	(4) 専門家を活用した経営状況の分析	3回	2回	専門家による経営分析セミナー開催(個別)経営分析を行った。	B
3. 事業計画策定支援【指針②】	(1) 計画素案の提示	18件	9件	巡回指導等において、計画素案提示、事業計画策定につなげた。	C
	(2) 専門家・個別指導	5回 18人	3回 12人	専門家等を活用した事業計画策定説明会の開催を行い、事業計画策定の必要性の説明を行った。	B
	(3) 事業承継支援G事業計画策定	2件	3件	事業承継に向けた事業計画策定支援として、後継者の育成に役立つ事業内容・財務内容について説明を行った。	A
	(4) 基礎的支援G事業計画策定	10件	10件	巡回指導等において、計画素案提示、事業計画策定につなげた。	A
	(5) 持続化支援G事業計画策定	2件	1件	持続化に向けた事業計画策定支援として、事業内容・財務内容について説明を行った。	C
	(6) 経営革新支援G事業計画策定	1件	1件	経営革新認定に向けた事業計画策定支援として、事業内容・財務内容について説明を行った。	A
4. 事業計画策定後の実施支援【指針②】	(1) 遂行状況確認頻度	3カ月 1回	3カ月 2回	事業計画策定後の巡回訪問実績 巡回件数 448件(平成30年3月31日現在)	A
	(2) 資金繰りシート作成	16件	12件	マル経幹旋 3件 1,300万円 村の融資制度 9件 8,700万円	B
	(3) 事業継承支援Gフォローアップ	12件	3件	事業承継に向けた事業計画策定支援として、後継者の育成に役立つ事業内容・財務内容について説明を行った。	B
	(4) 基礎的支援Gフォローアップ	40件	30件	ネットde記帳活用によりフォローアップ	B
	(5) 持続化支援Gフォローアップ	20件	2件	持続化補助金申請2件 採択0件	C
	(6) 経営革新支援Gフォローアップ	8件	1件	経営革新認定 1件	C

【田野畑村商工会】経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》

- A: 目標を達成することができた(100%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
- E: 未実施(0%)

5. 需要動向調査【指針③】	(1) 地元高齢者世帯(買い物弱者)の需要動向調査	1回 49件	1件 49件	田野畑村社会福祉協議会の協力によりアンケート調査実施。分析まで至らなかった。	E
	(2) 観光客等へのお土産品の需要動向調査	1回 20件	1回 0件	村内5事業所でアンケート調査の依頼したものの、回収分析まで至らなかった。	E
	(3) 観光客等への飲食店メニューの需要動向調査	1回 13件	1回 0件	村内6事業所でアンケート調査の依頼したものの、回収分析まで至らなかった。	E
	(3) 銀河プラザの需要動向調査	1回	1回	事業初年度ということもあり、岩手県産(株)の関係者を商工会に招き、物産展等の商品状況、販売実績の情報の聞き取りを行った。	D
	(4) 会報への情報提供	3回	0回	刊行物等の調査及び分析を行ってはいれるものの商工会のホームページで個社である地域内の小規模事業者に提供するまでにはいたっていない。	E
	(5) ホームページの更新	3回	0回	刊行物等の調査及び分析を行ってはいれるものの商工会のホームページで個社である地域内の小規模事業者に提供するまでにはいたっていない。	E
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】	(1) 展示会・商談会への参加企業	2社	1社	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、「いわて食の商談会in東京」に出展、個社商品のPRを行い、小規模事業者の売上向上を図った。	B
	(2) 商談会成立件数	2社	1社	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、「いわて食の商談会in東京」に出展、個社商品のPRを行い、小規模事業者の売上向上を図った。	B
	(3) ニッポンセレクト.com	1社 (90万円)	0社	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、首都圏のイベント「東京都練馬区光が丘地区祭」や「東京都日野市産業祭」に参加を行い、経費的な面から人間的な面まで販路開拓に寄与する支援を行った。	E
	(4) SHIFT開設企業数	1社 (90万円)	0社	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、首都圏のイベント「東京都練馬区光が丘地区祭」や「東京都日野市産業祭」に参加を行い、経費的な面から人間的な面まで販路開拓に寄与する支援を行った。	E
	(5) 全国物産展参加企業数	1社 (90万円)	1社 (90万円)	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、「いわて食の商談会in東京」に出展、個社商品のPRを行い、小規模事業者の売上向上を図った。	A

【田野畑村商工会】経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》

- A: 目標を達成することができた(100%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
- E: 未実施(0%)

II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	29年度		実績	評価
		目標	実績		29年度
1. 地域経済活性化事業	(1)MI田野畑検討会開催回数	4回	0回	人員不足開催できなかった。	E
	(2)TKT田野畑検討会開催回数	4回	0回	人員不足開催できなかった。	E
	(3)サービス構築支援委員会開催回数	4回	0回	人員不足開催できなかった。	E
	(4)新サービス実施企業数	2社	0社	人員不足開催できなかった。	E

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	29年度		実績	評価
		目標	実績		29年度
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	(1)地元金融機関・日本政策公庫盛岡支店との情報交換	4回	4回	研修会や懇談会に積極的に参加し、で、得られた情報については、職員間で共有し、小規模事業者の個別指導の際に活用している。	A
	(2)事業計画策定支援に関する情報の交換	2回	2回	研修会や懇談会に積極的に参加し、で、得られた情報については、職員間で共有し、小規模事業者の個別指導の際に活用している。	A
	(3)田野畑・普代・野田商工会情報交換会	3回	3回	研修会や懇談会に積極的に参加し、で、得られた情報については、職員間で共有し、小規模事業者の個別指導の際に活用している。	A
2. 経営指導員等の資質向上等	(1)職種別の資質向上	-	-	全職員を対象に、岩手県商工会連合会の職員向けセミナー、中小企業基盤整備機構の各種セミナー等への参加や専門家派遣の同行・連携指導を通じて、資質向上に取り組んでいる。	A
	(2)職員間での情報・知識の共有と蓄積	随時	随時	毎期職員間でミーティングを行い、本日の業務等を話し合い、お互いの指導・助言内容、情報などを共有し、会員支援に役立てている。	C
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	(1)役員会での評価・見直し方針の決定	4回	3回	商工会の発達計画担当者により平成29年度の達成状況の確認を行うとともに、事務局や三役会において、進捗状況の確認及び事業内容の検証を行った。 次年度(平成30年)の総会にて、会員・町へ報告する予定である。	B
	(2)外部専門家を招聘し役員会での評価・見直し方針の助言	1回	1回		A
	(5)会員・町への報告	1回	-		-
	(6)事業結果の公表	1回	-		-

総合評価

C